

電気配線工事説明書 外気処理ユニット(吹出温度制御) PJD012D061

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

●誤った作業を行うと火災や感電による危害や損害を「△警告」と「△注意」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を用いて説明していますので、必ずお守りください。

●「△警告」「△注意」の意味

△警告 守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。

△注意 守らないと、傷害や物的損害のある事項について説明しています。

●ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。○ 絶対に行わない ①② 必ず指示に従う

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

△警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
- 電源回路の配線工事や工器具があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外気が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。
- ご自分で取付けをされた、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 改修は絶対に行ない。また、修理は必ず買い上げの販売店に相談する。修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。取付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- 電源を切った後に電気工事をすると、感電、故障や動作不良の原因になります。

△注意

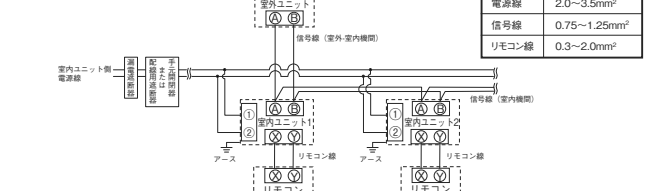
- アース(接地)を確実に行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 電源には必ず漏電遮断器(高感度対応品)を取付ける。漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ(漏電遮断器・手元開閉器(開閉器+8種ヒューズ)・配線遮断器)を使用する。不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 電源配線は、電圧容量に合った規格品の配線を使用する。漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。また、異なるサイズの単線またはより線を併用しない。端子台のねじ締めのみや接続不良が生じ、発熱・発火の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。必ず5分以上待つてください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

●本機に補助電気ヒータの取付けは不可です。

①電源配線接続

- 機器毎に設定された過電流及び漏電遮断器(感度電流30mA)を設置してください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合は、電源ブレーカ落ちによる2次災害が生じる恐れがあります。
- D種設置工事を必ず行ってください。
- 室内ユニットに接続する電源線は3.5mm²まで使用可能です。5.5mm²以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐してください。
- ユニットの外部では、リモコン線と電源配線が直接触れないように施工してください。
- 天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管などの保護管に通してください。
- 信号線端子に200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- 信号線を途中接続する場合は、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。
- 配線の接続はねじの締めを確実に確認してください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
- 信号線は銅線以外のものを使用しないでください。① 信号線は銅線以外のものを使用しないでください。② 注意ください。③ 電源は、室外ユニット・室内ユニット各々別電源としてください。④ 電気ヒータ(別売品)は含んでおられません。注:電気ヒータを相加する場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。⑤ 同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON、同時OFFになるようにしてください。⑥ 信号線と電源線の接続を間違えると全ての基板が焼損してしまいますので、ご注意ください。
- ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続① ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱の蓋を取外し、電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。② 室内ユニットに必ず電源遮断器(取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器(三菱電機製NVC-3シリーズまたは、その同等品)を選定してください。③ 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器(開閉器+8種ヒューズ)または、配線用遮断器が必要となります。

配線系統図(室外・室内ユニット接続要領)



電源仕様

形式	漏電遮断器定格	開閉容量	ヒューズ	配線サイズ				
				電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線
10B3	15A	30mA	0.1sec	2.0mm ² ×2	87m	0.75-1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
16B3, 2103	15A	30mA	0.1sec	2.0mm ² ×2	87m	0.75-1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²

注1. 配線こう長は、電圧降下を2%とした場合を示します。上表の配線こう長を超える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。
注2. リモコン線の延長距離が100mを超える場合は、⑥リモコンの取付けに従い、配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチの場合

- 分注コントローラの配線
- 本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分注コントローラ(別売品)に付属の据付説明書をご覧ください。

②アドレス設定

アドレス設定は、(1)手動アドレス設定、(2)自動アドレス設定(3)リモコンアドレス変更の3つ設定方法があります。上記3項目については、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

③リモコンの取付け(別売部品)

●次の位置へ取付けください。

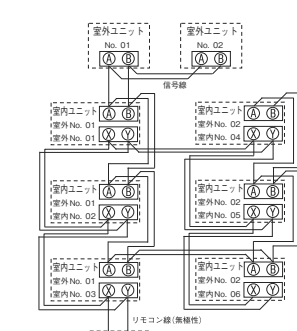
- 直射日光の当たらない所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接触れる所
- 取付面の凹みがある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。(現地手配)
- リモコン線の延長は100mです。延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。
 - 100-200m以内・・・0.5mm²×2心
 - 300m以内・・・0.75mm²×2心
 - 400m以内・・・1.25mm²×2心
 - 600m以内・・・2.0mm²×2心
- ③顔動作用の場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
- ④リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。
- ⑤リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

1リモコンによる複数室内ユニット制御

- ①1つのリモコンで複数台のユニット(最大16台)をグループ制御できます。同一モード、同一室温設定で運転します。
- ②リモコンが制御用電源に各室内ユニット間を2心のリモコン線に渡り配線してください。
- ③室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
 - 室内ユニット基板上的ロータリーSW1、SW2により、室内No.を重複しないように設定してください。
 - 室外ユニットの室内No.設定も必要です。忘れずに設定してください。
- ④右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
- 電源投入後、リモコンのエアコンNoを押すと室内アドレスが表示されますので、[▲]ボタンで接続されている室内アドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。



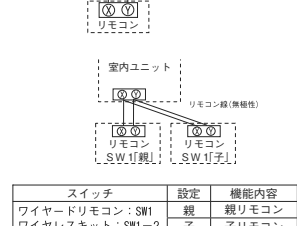
室内ユニット確認方法

- ①エアコンNo.が表示されている時に運転切換ボタンを押すとそのNo.の室内ユニットが送風運転します。(表示例:「内000送風」)
- ②再運転切換ボタンを押すと、送風運転を停止します。但し、エアコンが運転中の場合は無効です。

複数リモコン使用時の親子設定

- 室内1台(又は1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。
- ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコンとワイヤレスリモコン2台のいずれかの組合せが可能です。

- ①子リモコンの切換えスイッチ(ワイヤードリモコン:SW1、ワイヤレスリモコン:SW1-2)を「子」に設定してください。初期設定は「親」設定です。
- ②注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知できる位置に取付けてください。



スイッチ	設定	機能内容
ワイヤードリモコン: SW1	親	親リモコン
ワイヤレスリモコン: SW1-2	子	子リモコン

④試運転

冷房試運転方法

- リモコンを次の手順で操作してください。
- 1. 冷房試運転の開始
 - ①運転/停止ボタンを押して、運転します。
 - ②運転/停止ボタンにより、「冷房」を選択します。
 - ③運転/停止ボタンを3秒以上押し続けます。表示が「冷房試運転▼」となります。
 - ④「冷房試運転▼」の表示で、[H]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転▼」となります。
- 2. 冷房試運転の解除
 - 下記のいずれかの操作が行われた時、冷房試運転は解除され、「冷房試運転」表示は消灯します。
 - ①運転/停止ボタンが押された時。
 - ②温度設定[H]ボタンが押された時。
 - ③運転/停止ボタンにより冷房以外のモードに変えた時。
 - ④冷房試運転開始より30分経過した時。

運転データの確認方法

- リモコン操作により、運転データの確認ができます。
- [操作手順]
 - 1. 運転ボタンを押します。表示が「運転データ表示▼」となります。
 - 2. 「運転データ表示▼」の表示で、[H]ボタンを押します。
 - 3. リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合、「データ確認」表示となり、(データを読み込む間減表示)その後、運転データの01番が表示されます。7番へお進みください。
 - 4. リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレスが表示されます。
 - 例:「室内機選択▼」(1秒間点灯)「内000▲」(点滅)
 - [H]ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
 - [H]により確認します。(室内アドレスが点滅から点灯に変わります。)
 - 「内001」(選択した室内アドレスを2秒間点灯)
 - 5. 「データ確認」(データを読み込む間減表示)その後、運転データの01番が表示されます。
 - 6. [H]ボタンにより、現在の運転データを確認できます。表示される項目は右記の通りです。
 - *横線より該当するデータがない場合は、その項目は表示されません。
 - 7. 室内ユニットを変更する場合は、[エアコンNo.]ボタンを押すことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
 - 8. 運転/停止ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、[リセット]ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

- 運転データの確認は、リモコン2台で室内機を運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

ドレンポンプ試運転方法(ドレンポンプはオプションです)

- ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。リモコンを次の手順で操作してください。
- 1. ドレンポンプ強制運転の開始
 - ①運転/停止ボタンを3秒以上押し続けます。表示が「冷房試運転▼」となります。
 - ②[H]ボタンを一度押し、「ドレンポンプ運転▲」を表示させます。
 - ③[H]ボタンを押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示:「[H]で停止」
- 2. ドレンポンプ運転の解除
 - ①[H]ボタン又は、運転/停止ボタンを押すと、ドレンポンプ(オプション)強制運転を解除します。エアコンは停止状態となります。
- リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

⑤ リモコンによる機能設定

機能設定

●リモコンと室内ユニットの各機能は、リモコンと室内ユニットを接続した際に、標準的な使い方である初期設定で自動設定されます。
標準的な使い方をする場合は、設定の変更は不要です。

但し、グリル昇降設定や、「Q」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。

機能設定のながれば、右記の通りです。
設定方法の詳細は、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

グリル昇降設定/14h制御設定

- 初期設定では、リモコンはグリル昇降設定の動作となります。
グリル自動昇降/3h表示-使用の場合は、必ずグリル昇降設定の設定を
してください。
- 据付地域の電源周波数に合わせて、50Hz地区または60Hz地区のどちらかを
選んで設定してください。
- (グリル昇降設定のしかた(簡易設定))
1. エアコン停止状態で「セッ」ボタンと「運転/停止」ボタンを
同時に長押ししてください。
表示が「昇降無効」となります。
 2. 「▲」または「▼」ボタンにより設定を選択してください。
表示「昇降無効」⇒「有効50Hz」⇒「有効60Hz」
 3. 「セッ」ボタンを押す
表示が「設定完了」となります。その後リモコンは停止状態に戻ります。

【機能設定のながれ】

開始： エアコン停止状態で「セッ」ボタン同時3秒押し
確定： 「セッ」ボタンを押す
戻る： リセットボタンを押す
選択： 「▲」「▼」ボタンを押す
終了： 「運転/停止」ボタンを押す
(設定の途中で終了しますが、設定が完了していないものは無効になります。)

「○」： 初期設定
「※」： 自動判別
設定方法の詳細は、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

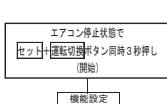
注1：※印の初期設定は、接続される室内ユニット及び室外ユニットにより異なり、下記の通り自動判別されます。

機能番号	項目	初期設定	機種
リモコン02	自動運転設定	自動運転有効	(リモコン)自動運転可能な機種
リモコン06	風量切換	自動運転有効	(リモコン)自動運転可能な機種
リモコン07	風向切換	自動運転有効	室内ファンファンタックが1速のみの機種
リモコン13	室内ファン	自動運転有効	室内ファンファンタックが3速の機種
リモコン14	14h制御設定	自動運転有効	室内ファンファンタックが1速のみの機種
リモコン04	室外ファン	自動運転有効	室外ファンファンタックが1速のみの機種
リモコン17	外機制御	自動運転有効	室外ファンファンタックが1速のみの機種

注2：高天井天井ファンタックのファンタック

ファンタック	高天井	標準	低天井
高天井	Hi/HiLo	Hi/Lo	Hi/Me
標準	UH/Hi/Me	UH/Me	UH/Hi

機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。



- 外気処理ユニットはリモコンで温度下限を15℃に必ず設定してください。⑨リモコンでの温度下限設定方法を参照ください。
- 外気処理ユニットはリモコンセンサの信号は受け付けないのでリモコンセンサは必ず無効にしてください。
- 外気処理ユニットは(13)ドレンポンプを必ず冷房除湿+暖房時ドレンポンプONに設定してください。
- 外気処理ユニットは(15)暖房ファン運転を必ず0.5時間残留運転に設定してください。

各制御の詳細は、技術資料等をご確認ください。

設定内容を記録して保管してください。

リモコン機能	室内ユニット機能	室内ユニットNo.選択
01 1/2L昇降設定	昇降無効 50Hz地区/使用の場合 60Hz地区/使用の場合	0000 0001 0002 0003 0004
02 自動運転設定	自動運転有効 自動運転無効	0000 0001 0002 0003 0004
03 風量切換	温度設定操作禁止 運転切換操作禁止	
04 運転/停止	運転/停止操作禁止	
05 風量切換	風量調整操作禁止	
06 風向切換	風向調整操作禁止	
07 タイマー	タイマー有効 タイマー無効	
08 リモコンセンサ設定	リモコンセンサ有効 リモコンセンサ無効	
09 停止種別指定	暖房種別有効 暖房種別無効	
10 暖房設定	暖房有効 暖房無効	
11 温度範囲設定	温度設定範囲を変更した場合、設定温度表示は、制約に違反した場合は、制約に違反せず、設定した温度のままとなります。	
12 室内ファン	3速/2速/1速 1速	
13 14h制御設定	14h制御有効 14h制御無効	
14 14h制御設定	14h制御有効 14h制御無効	
15 冷房/暖房	冷房有効 冷房無効	
16 外部入力設定	外部入力有効 外部入力無効	
17 暖房表示設定	暖房表示有効 暖房表示無効	
18 暖房準備表示	暖房準備表示有効 暖房準備表示無効	

運転/停止ボタン (終了)

注1：外気処理室内ユニットでは(17)外機制御は圧力制御標準です。

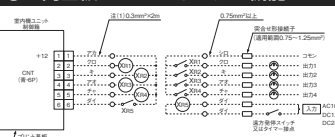
⑥ 制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。(□は工場出荷時の設定)

SW1	SW2	SW3	SW4	SW5-1	SW5-2	SW5-3	SW7-1
暖房種別切換	暖房種別切換	暖房種別切換	暖房種別切換	暖房種別切換	暖房種別切換	暖房種別切換	暖房種別切換

注1：通信方式であるスーパーリンクの仕様は選択できません。
旧 ISL：ヒル空調 2LX シリーズ、ガスヒートポンプ MT シリーズ以前
新 ISL：ヒル空調 3LX シリーズ、ガスヒートポンプ MB シリーズ以降
SW5-1 が OFF (工場出荷設定) の場合は、通信仕様 (新 ISL/旧 ISL) を自動判別します。
旧 ISL 通信仕様で使用する場合は、SW5-1 を ON にしてください。
旧 ISL 通信仕様の特徴、制限は室外ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

⑦ 室内基板 CnT コネクタの機能



- Xn1-4はDC12Vリレー (オムロン製LY2F相当品)
- Xn5はDC12V、2.4Vまたは100Vリレー (オムロン製MY2F相当品)
- CnTコネクタ (現地側) メーカー、形式
コネクタ：モロックス製 5264-06
端子：モロックス製 5263 T

出力	入力
出力1 エアコン運転出力 (エアコン時Xn1=ON)	入力1 Xn5 OFF⇒ON エアコン
出力2 暖房出力	入力2 Xn5 ON⇒OFF エアコン-OFF
出力3 サーモN出力 (サーモN時Xn5=ON)	入力3 Xn5 OFF⇒ONの0V/Lv信号によりON/OFF反転
出力4 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn6=ON)	
出力5 暖房点検出力 (暖房点検時Xn7=ON)	
出力6 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn8=ON)	
出力7 暖房点検出力 (暖房点検時Xn9=ON)	
出力8 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn10=ON)	
出力9 暖房点検出力 (暖房点検時Xn11=ON)	
出力10 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn12=ON)	
出力11 暖房点検出力 (暖房点検時Xn13=ON)	
出力12 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn14=ON)	
出力13 暖房点検出力 (暖房点検時Xn15=ON)	
出力14 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn16=ON)	
出力15 暖房点検出力 (暖房点検時Xn17=ON)	
出力16 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn18=ON)	
出力17 暖房点検出力 (暖房点検時Xn19=ON)	
出力18 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn20=ON)	
出力19 暖房点検出力 (暖房点検時Xn21=ON)	
出力20 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn22=ON)	
出力21 暖房点検出力 (暖房点検時Xn23=ON)	
出力22 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn24=ON)	
出力23 暖房点検出力 (暖房点検時Xn25=ON)	
出力24 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn26=ON)	
出力25 暖房点検出力 (暖房点検時Xn27=ON)	
出力26 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn28=ON)	
出力27 暖房点検出力 (暖房点検時Xn29=ON)	
出力28 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn30=ON)	
出力29 暖房点検出力 (暖房点検時Xn31=ON)	
出力30 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn32=ON)	
出力31 暖房点検出力 (暖房点検時Xn33=ON)	
出力32 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn34=ON)	
出力33 暖房点検出力 (暖房点検時Xn35=ON)	
出力34 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn36=ON)	
出力35 暖房点検出力 (暖房点検時Xn37=ON)	
出力36 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn38=ON)	
出力37 暖房点検出力 (暖房点検時Xn39=ON)	
出力38 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn40=ON)	
出力39 暖房点検出力 (暖房点検時Xn41=ON)	
出力40 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn42=ON)	
出力41 暖房点検出力 (暖房点検時Xn43=ON)	
出力42 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn44=ON)	
出力43 暖房点検出力 (暖房点検時Xn45=ON)	
出力44 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn46=ON)	
出力45 暖房点検出力 (暖房点検時Xn47=ON)	
出力46 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn48=ON)	
出力47 暖房点検出力 (暖房点検時Xn49=ON)	
出力48 エアコン点検出力 (エアコン点検時Xn50=ON)	

- 冷房フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ (別売品) の取扱説明書をご覧ください。
- 標準出荷でCnTを使用しています。冷房フリーマルチ対応の場合はCnTが接続 (別売品) が必ず必要です。

⑧ 故障診断方法

異常発生時の運転データを記憶し、リモコンから異常運転データの確認ができます。

データ項目は「**異常履歴**」の項目を表示します。
※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。

- 【操作手順】
1. 点検ボタンを押します。表示が「運転データ表示▼」となります。
 2. ▼ボタンを押し、「異常データ表示▲」に切替えます。
 3. セットボタンを押すと、異常運転データ表示モードに入ります。
 4. リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合は、以下の表示となります。
 - ①異常履歴がある場合：エラーコードと「データ確認中」を表示します。
 - 【例】「E8」(エラーコード)「データ確認中」(データを読み込み間点滅表示) 続いて、データが表示されます。お読みください。
 - ②異常履歴がない場合：「異常なし」を3秒間表示し、本モードを終了します。
 5. リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は、以下の表示となります。
 - ①異常履歴がある場合：接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレス番号とその室内ユニットのエラーコードを表示します。
 - 【例】「E8」「内000▲」(点滅)
 - ②異常履歴がない場合：アドレス番号表示のみとなります。
 - ▲▼ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
 - セッにより確定します。(室内アドレスが点滅から点灯に変わります。)
 - 【例】「E8」
 - 「内000」(選択した室内アドレスを2秒間点灯) → 「E8」
 - 「データ確認中」(データを読み込み間点滅表示) 続いて、データが表示されます。
 - 異常履歴がない室内ユニットを選択した場合は、「異常なし」を3秒間表示し、室内アドレス表示に戻ります。
 8. ▲▼ボタンにより、異常運転データを確認できます。
 9. 室内ユニットを変更する場合は、[E]ボタンを押すことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
 10. 運転/停止ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、セッボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。
●異常運転データの確認は、リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

エラーコード	発生条件	内容
E1	過熱	室内基板、室内ユニットの過熱
E2	1回点滅	室内ドレンノズル、漏れ (運転中のみ確認)
E3	2回点滅	室内ドレンノズル、漏れ (運転中のみ確認)
E4	3回点滅	室内ドレンノズル、漏れ (運転中のみ確認)
E5	4回点滅	室内ドレンノズル、漏れ (運転中のみ確認)
E6	5回点滅	室内ドレンノズル、漏れ (運転中のみ確認)
E7	6回点滅	室内ドレンノズル、漏れ (運転中のみ確認)
E8	7回点滅	室内ドレンノズル、漏れ (運転中のみ確認)
E9	8回点滅	室内ドレンノズル、漏れ (運転中のみ確認)
E10	過熱	リモコンの過熱
E11	1回点滅	リモコンの過熱
E12	2回点滅	リモコンの過熱
E13	3回点滅	リモコンの過熱
E14	4回点滅	リモコンの過熱
E15	5回点滅	リモコンの過熱
E16	6回点滅	リモコンの過熱
E17	7回点滅	リモコンの過熱
E18	8回点滅	リモコンの過熱
E19	9回点滅	リモコンの過熱
E20	10回点滅	リモコンの過熱
E21	11回点滅	リモコンの過熱
E22	12回点滅	リモコンの過熱
E23	13回点滅	リモコンの過熱
E24	14回点滅	リモコンの過熱
E25	15回点滅	リモコンの過熱
E26	16回点滅	リモコンの過熱
E27	17回点滅	リモコンの過熱
E28	18回点滅	リモコンの過熱
E29	19回点滅	リモコンの過熱
E30	20回点滅	リモコンの過熱
E31	21回点滅	リモコンの過熱
E32	22回点滅	リモコンの過熱
E33	23回点滅	リモコンの過熱
E34	24回点滅	リモコンの過熱
E35	25回点滅	リモコンの過熱
E36	26回点滅	リモコンの過熱
E37	27回点滅	リモコンの過熱
E38	28回点滅	リモコンの過熱
E39	29回点滅	リモコンの過熱
E40	30回点滅	リモコンの過熱

⑨ リモコンでの温度下限設定方法

- 下限値の設定方法
- 1. エアコンを停止させて、「セッ」運転切替ボタンを同時に3秒以上押しします。表示が「機能設定▼」となります。
- 2. ▼ボタンを押し、「温度範囲▲」表示に切り換えます。
- 3. セットボタンを押して、温度範囲設定モードに入ります。
- 4. ▲▼ボタンにより、「下限設定▲」を選びます。
- 5. セットボタンを押して確定します。
- 6. 「下限設定▲」(冷房、除湿、送風時に有効となります。)
- ①表示：「V」で設定。「V」(下限20℃V)
- ②温度設定▼▼ボタンにより、下限値15℃を選びます。表示例：「下限15℃V」(点滅)
- ③セッボタンを押して確定します。表示例：「下限15℃」(2秒間点灯)
- 確定した下限値を2秒間点灯後、表示は「下限設定▼」に戻ります。
- 7. 運転/停止ボタンを押して、終了します。

設定の途中で、運転/停止ボタンを押しても終了します。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
設定の途中で、セッボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

